

2022年11月4日
多摩支部企画事業委員会 土井隆夫

第19回 明治大学シェイクスピアプロジェクト 「夏の夜の夢」・「二人の貴公子」 観劇報告

明治大学シェイクスピアプロジェクトとは、今年19年目を迎える明治大学主催のシェイクスピア劇上演プロジェクトです。原文翻訳、演出、企画運営、衣装、舞台美術など、公演に関わるすべてのプロセスを今回は過去最多の明大生約220名が応募して手掛ける、サークルでも学生団体でもない明治大学を代表する一大プロジェクトで、主催：明治大学、後援：明治大学連合父母会・明治大学校友会・連合駿台会です。

今年は11月4日～6日、それぞれ『夏の夜の夢』と『二人の貴公子』が、シェイクスピアの喜劇作品でコロナ禍の閉塞感漂う今の時代へ笑いの風を吹き込むきっかけになればと上演されます。

私は初日最初の『夏の夜の夢』を観劇しました。アカデミーコモン3階アカデミーホールが満席の状況でした。

『夏の夜の夢』は、公爵と女王の婚礼にまつわる夏の夜、森へ駆け落ち、森は妖精の世界で魔法の恋の花を使い小姓たちの恋の成就も相手のかけ違いで混乱、その中、目覚めて公爵と女王の恋は成就する・・・が？

キャストのほか舞台にまつわるスタッフが、短期間でこんなに玄人に劣らず成し遂げられていることに驚かされてしまいました。学生たちから元気ももらいました。

帰り、1階エスカレーターの中で出演者たちにお見送りしていただきました。



アカデミーコモン入口



出演者たちのお見送り